

心理学を取り入れた北海道産針葉樹材内装材の好ましさの評価(第2報)

経験が評価に及ぼす影響の検討

(北林産試)○松本久美子, 川等恒治, 今井 良, 斎藤直人 (北大院文)川端康弘, 佐々木三公子

これまでの研究※と本研究の意図

※松本久美子他5名、第63回日本木材学会大会,研究発表要旨集,G27-04-0945

針葉樹材の節の量(面積率)と好ましさの関係を検討



心理学の知見(文脈効果**)を取り入れた評価手法の提案

**対象が置かれた環境的(場所・状況)・社会的条件、そして既習の背景知識など時間軸に関わる要因が、対象物に対する知覚や認知に影響を及ぼすこと

〇〇〔場所〕に使う内装材として、節の有るトドマツの壁材をどう思いますか？

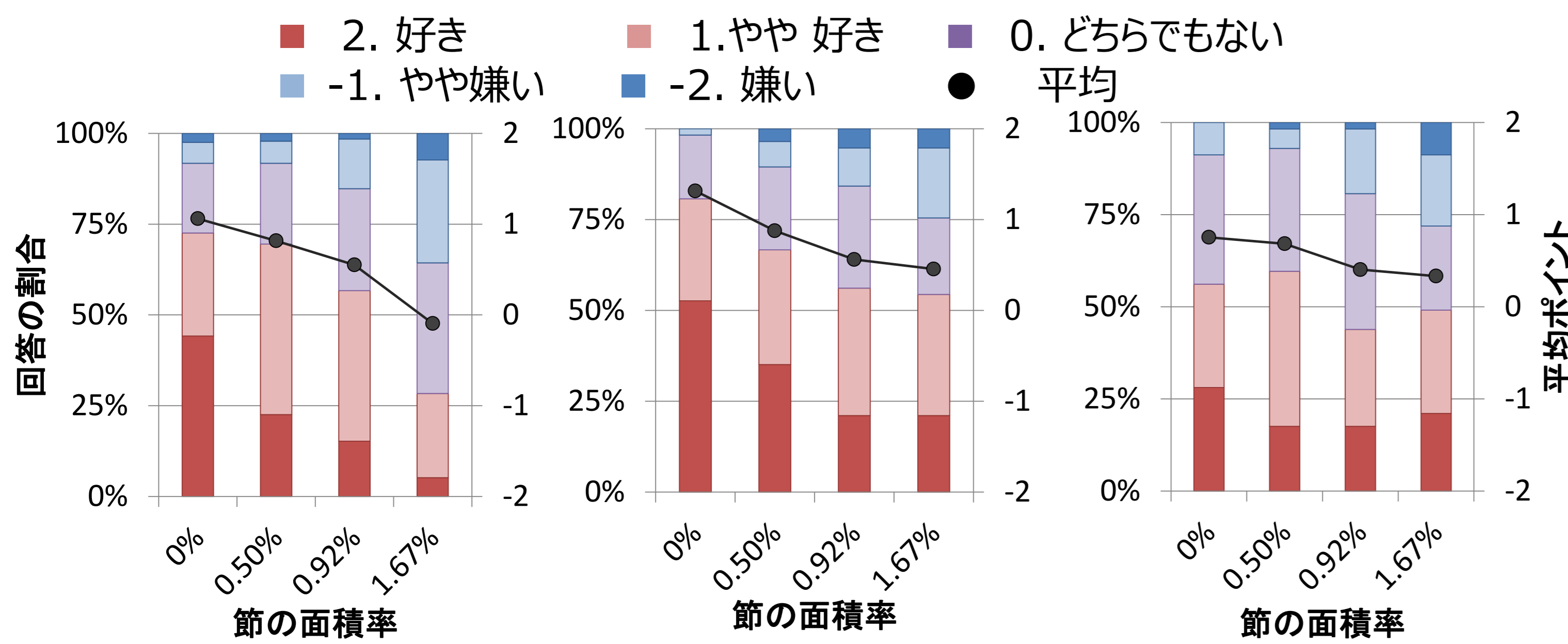
住宅

ホール

学校



住宅の被験者 82名 (男性26名 女性56名)
ホール・学校の被験者 57名 (男性22名 女性35名)



住宅だと、節が多いとうるさく感じる

ホールみたいに広い場所なら、節があっても気にならないかも

子供たちが過ごす場所では、本物の素材を使って欲しい

本研究の結果

被験者

広葉樹

針葉樹

一般

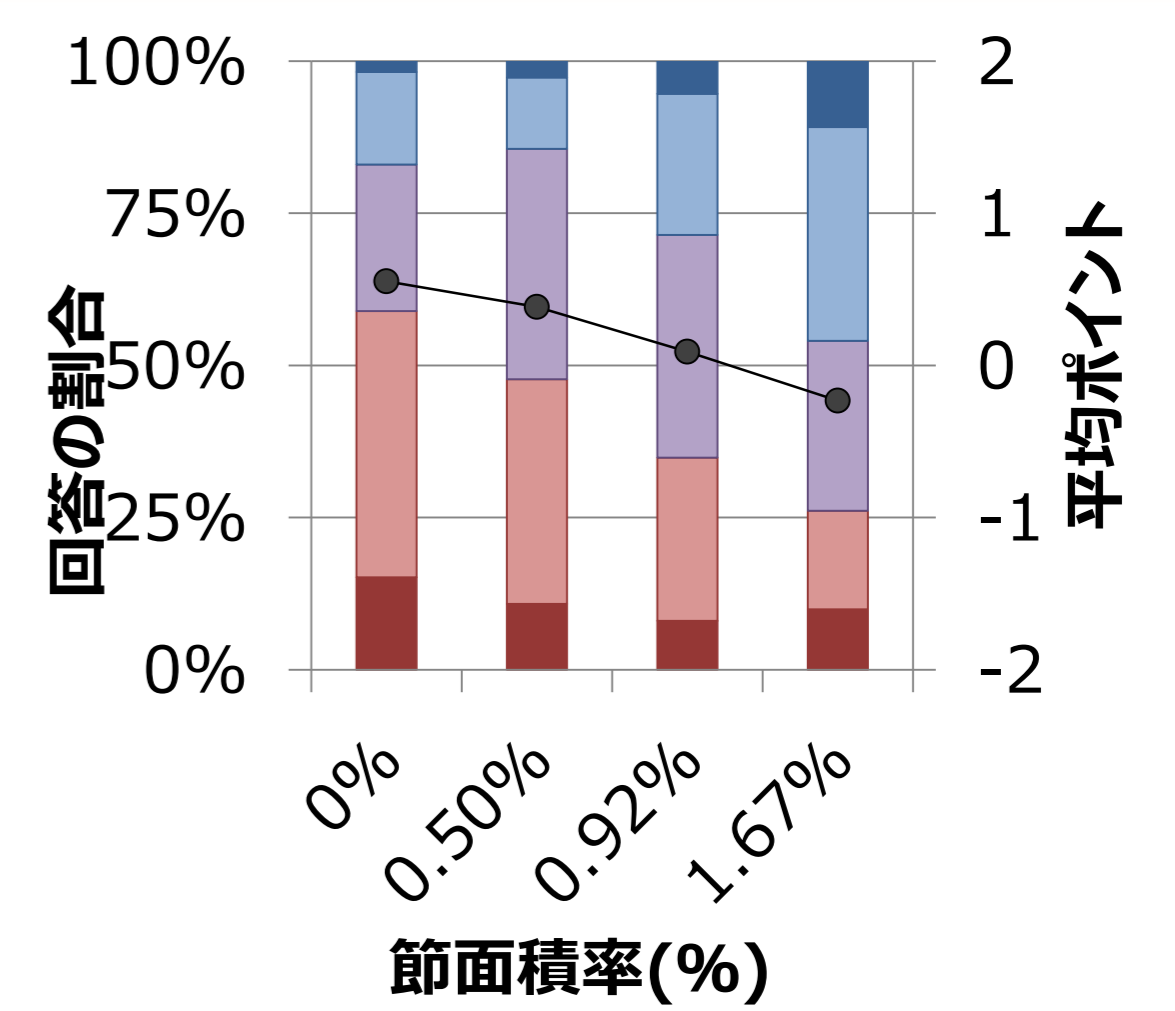
家具産業等従事者の職業形態		年代				計
扱う樹種	職業	20代	30代	40代	50代以上	
広葉樹のみ	家具職人	9	6	4	1	20
	家具設計・営業等	-	3	2	5	10
計		9	9	6	6	30
針葉樹を含む	家具職人	0	4	2	2	8
	家具設計・営業等	-	1	-	-	1
計		0	6	4	8	18
一般被験者	住宅評価	2	38	25	14	79
	学校評価	-	17	19	21	57
計		2	55	44	35	136

扱: 針葉樹に、北林産試技能系職員、旭川高等技術専門学院教員を含んだ
※: 木材加工等指導

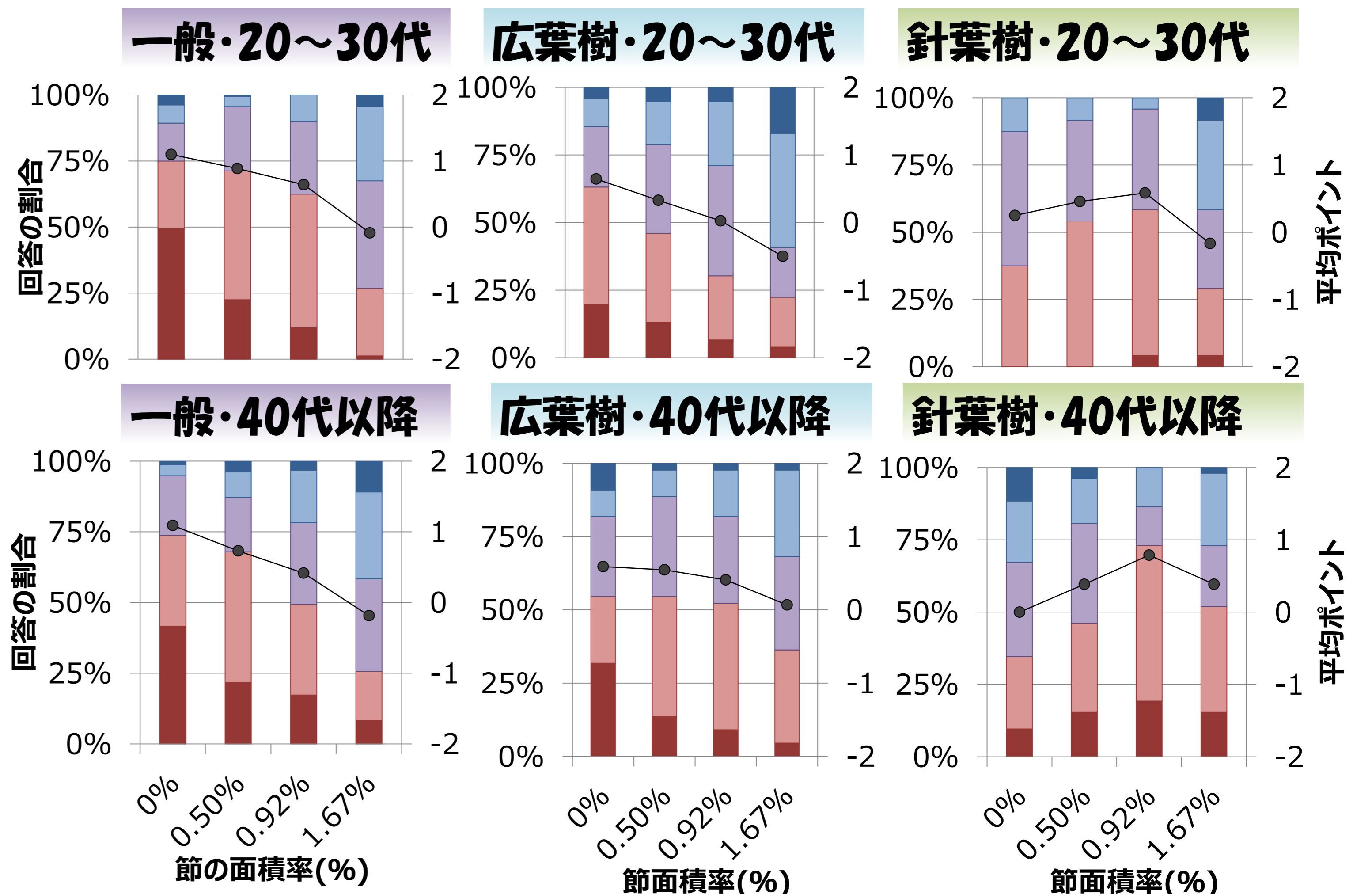
住宅の評価

一般: 住宅79名 (20~30代: 40名、40代以降: 39名)
学校57名 (20~30代: 17名、40代以降: 40名)
広葉樹: 30名 (20~30代: 18名、40代以降: 12名)
針葉樹: 18名 (20~30代: 6名、40代以降: 12名)

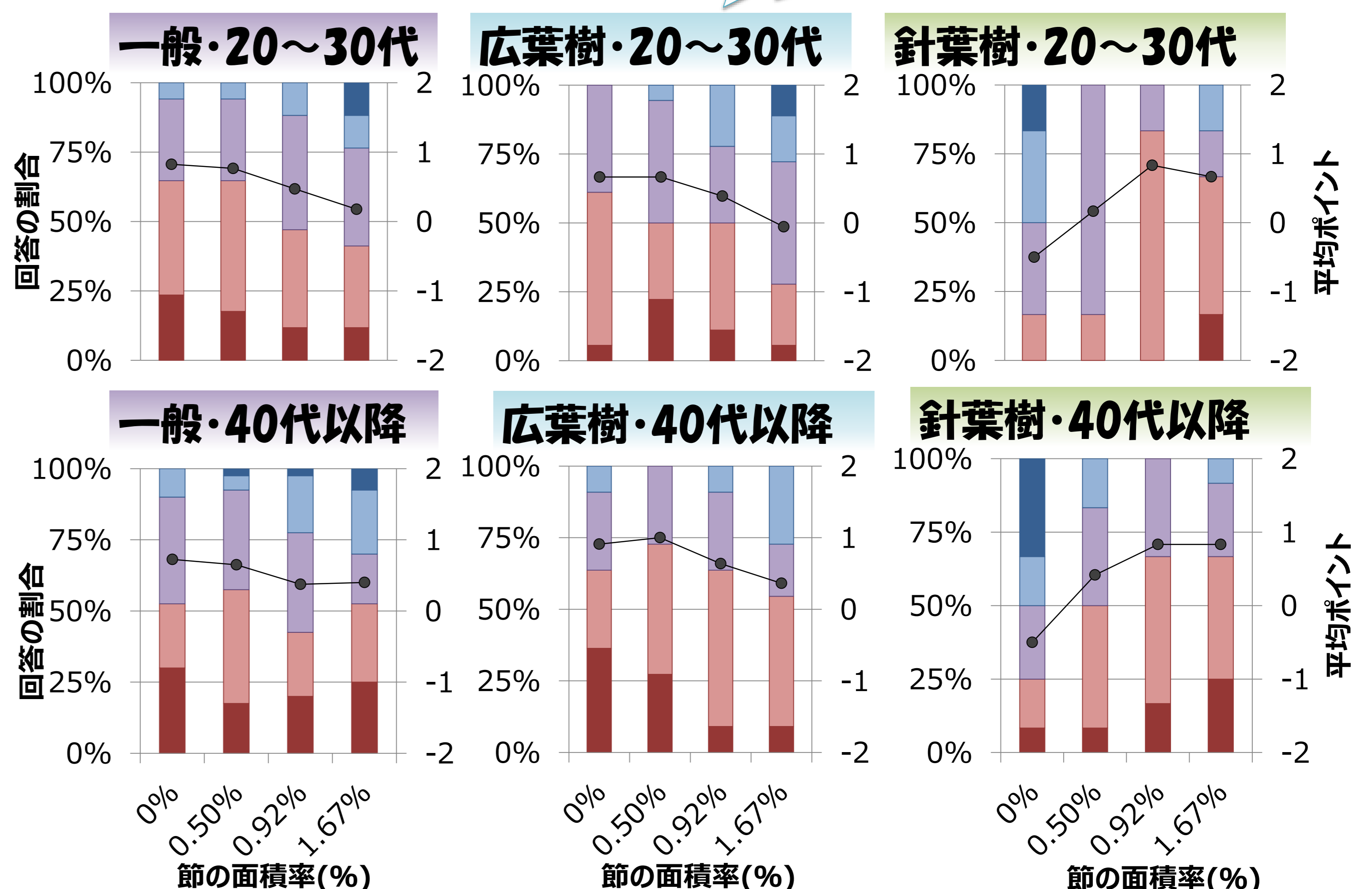
参考: 旭川高等技専・学生 (家具職人にこれからなる人)



将来、どんな樹種を扱うかで、評価が変わってくる??



学校の評価



被験者コメント
節はあったほうが良い
節が嫌なら、なぜ壁に木材を使う??
トドマツにあるはずの節がないのは、違和感を感じる

接触経験や対象物について熟知が、物の見方を変容させることが示唆された。

同じ節の量を持つ壁でも、被験者の経験や既習知識で、評価は異なることが明らかに

評価には、内装材が使われる場所やそこから喚起されるイメージが影響を及ぼすことを確認

同じ節の量を持つ壁でも、使われる場所や状況によって、人の評価は異なることが明らかに

でも...

評価する人の背景(経験・好み・価値観・既習知識etc.)の影響は?



私は家具職人です。 私は一般人です。

経験や既習知識など、被験者の因子の影響は??

家具産業従事者(職人・設計etc.)と一般の人を被験者として比較

さらに... 背景(社会的条件)の検討

針葉樹を扱っている被験者と広葉樹のみの被験者の評価を比較

さらに... 時間軸の検討
年代(20~30代vs40代以上)の比較

見る人(経験・知識etc)が変わると、評価は変わるか否か?

謝辞

本研究の一部は、農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業「ITにより低コストに人工林材から内装材を製造する生産・加工システムの開発」による。評価には、旭川高等技術専門学院造形デザイン科の皆様、旭川市工芸センター 青木繁尚氏、(株)いさみや様、(有)インテリア北匠工房様、(株)オークラ様、GAUZY CALM WORKS様、(株)カンディハウス様、木と暮らしの工房様、(有)杏和建具様、(株)コサイン様、山岡木材工業(株)様にご協力いただいた。ここに記して、謝意を表す。また、被験者になっていただいた方々に心より感謝する。